

競技注意事項

1. 入場制限および熱中症対策

(1) 競技場、スタンド、芝生スタンドへの入場等は以下のとおりとする。詳細は別紙動線を確認すること。

	選手	競技役員	顧問・引率者・団体関係者	保護者
競技場内	○	○	×	×
スタンド	○	○	○	×
芝生スタンド	一部○	○	※ ₁	○(一部×)

※₁ 第1・2コーナー、バックストレートの芝生スタンドについては、保護者の観戦・応援を優先とする。

※₂ 公認審判員証を持っていない方は、首にかける審判名札を着用すること。

選手、顧問・引率者・団体関係者・学校関係者は100mスタート側ゲート「選手出入口」から、保護者は第3コーナーのゲート「保護者出入口」からのみ入退場することができる。応援場所については、「選手・保護者の動線について」を確認すること。

(2) 開会式、閉会式は行わない。

(3) 応援のみの生徒は来場しない。

(4) 熱中症対策として、東洋アリーナ安城（安城市体育館）第1・2・3会議室、講師控室を8:00より開放する。選手・補助員および指導者（引率者・監督・コーチ・競技役員）は使用してもよい。これ以外の体育館内の部屋（アリーナや観客席等）は使用することはできない。

※ 使用した場所の整頓・清掃をすること。机・いす等を動かした場合は原状復帰をすること。

※ 使用した学校の指導者（引率者・監督・コーチ）は使用後に忘れ物等を確認すること。

※ 一般の方の利用の妨げになるような使い方は厳に慎むこと。

※ 体育館職員や競技役員の指示にしたがって使用すること。

(5) 熱中症対策として、WBGT暑さ指数が31℃を超えた場合、一時中断するなど現場で判断する。熱中症警戒アラート（WBGT暑さ指数が33℃以上）が出た場合、中止または一時中断を現場で判断する。熱中症特別警戒アラート（WBGT暑さ指数が35℃以上）が出た場合、競技を中止する。

(6) 冷却ゾーンを100mゴール後方のスペースに設置する。レース終了後や、クールダウンとして使用してよい。

※選手専用とする

2. 競技会全般に関して

(1) 本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会の申し合わせ事項によって行う。本大会のスタート動作における競技規則は、国内適用を用いる。

(2) ウォーミングアップについて

① 野球場および、競技場周辺を利用すること。ただし、一般の方の利用の妨げになるような使い方は慎むこと。

② 器具を使つてのウォーミングアップはしないこと。

③ 野球場は以下の点に注意して使用すること。

- ・ 7:45より出場選手のみ使用することができる。
- ・ 使用できるのは芝生部分のみとする。土の部分には絶対に入らないこと。
- ・ スパイク、器具を使つてのウォーミングアップは行わない。
- ・ 両日とも最終種目の招集開始時刻をもって閉鎖する。

④ 朝のウォーミングアップは、準備に支障ない範囲で最初の競技開始15分前まで、競技場内でのウォーミングアップを可とする。準備ができ次第、7・8レーンに女子のハードル、9・10レーンに男子のハードルを設置するので使用してよい。また、トラックの内側も競技準備に支障のない範囲で使用可とする。

⑤ 競技開始以降も競技進行に支障のない範囲で、競技役員の指示のもと競技場内でのウォーミングアップをすることができる。ただし、第1日目の女子共通1500m決勝の競技中は、競技場内でのリレー練習を禁止する。

- ⑥ ハードル種目については安全面を考慮し、下の表のとおり、競技場内でウォーミングアップをすることができる。

種目	時間	備考
男女ハードル予選	11:10～11:40 (1年女子800m競技中)	7・8レーンに女子のハードル、9・10レーンに男子のハードルを設置する。
男女ハードル決勝	10:30～11:30 (男子1500m競技中)	7・8レーンに女子のハードル、9・10レーンに男子のハードルを設置する。

※競技役員の指示に従い、競技の妨げにならないよう注意すること。

※練習中に招集時間をむかえる種目があるため、招集に遅れないよう注意すること。

※バックストレートでは、トラックからスタンドまでの距離が特に短いため、ウォーミングアップなどで利用する際は荷物の置き場所にも配慮する。

(3) 競技者の招集について

- ① トラック競技、フィールド競技両方とも、招集所はメインスタンド外側に設ける（「選手・保護者の動線について」参照）。
 - ② 代理人による招集は一切認めない。
 - ③ 招集を終えたトラック競技者はスタート10分前にはスタート地点に、フィールド競技者は招集終了後競技場所に集合し、最終点呼を受けること。
 - ④ 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。
 - ⑤ 招集開始時刻及び招集完了時刻は、種目により、また組により違うのでタイムテーブルを確認すること。
 - ⑥ リレーの招集は、オーダー用紙を招集完了時刻60分前までに招集所へ提出する。用紙は1日目については学校受付に、2日目については招集所に用意する。その後、招集完了時刻までに4人の走者全員で招集を受けること。
オーダー用紙提出で招集完了ではないので、招集を忘れずに受けるようにすること。
- ※ 決勝もオーダー用紙の提出や招集を行うので忘れないようにすること。
- ※ オーダー用紙の未提出の場合は、欠場として処理する。

(4) 表彰について

- ① アナウンスの発表後、3位までに入賞したものは、本部前で賞状を受け取ること。
- ② 団体入賞については、総合成績発表後、本部まで顧問が取りに来ること。
- ③ 団体表彰については、総合上位6位までを表彰する。（ただし、クラブチームを除く） ※表彰式は行わない。

(5) 記録速報について

- ① アナウンスによって記録の発表を行う。また、メインスタンド外側に記録の掲示を行う。
- ② 記録速報をweb ページ上にアップロードする。ただし、競技会終了後しばらくしたら削除する。
- ③ 記録速報のQRコードは、メインスタンド外側に掲示する。詳細は、「記録速報サイトについて」を確認すること。

(6) 写真及びビデオ撮影について

- ① 保護者及び、本人の了解がない撮影を禁止する。
- ② 団体関係者は、所属がわかる服装もしくは名札を着用し、撮影する。
- ③ 観客席での撮影禁止エリアは以下の通り。
 - ・100mスタート地点よりも後方のスタンド
 - ・各種目のスタート後方
 - ・走高跳、走幅跳、棒高跳の助走後方・着地後方
 - ・走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）
- ④ 選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や試技を行っている間、身体を動かしている間など、

競技の準備をしている時間も撮影を禁止する。

- ⑤ 他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡する。

3. 競技に関して

(1) アスリートビブス (ナンバーカード) について

- ① アスリートビブス (ナンバーカード) はユニフォームの胸・背部に確実につける。なお、跳躍種目の競技者は、背部または胸部のみでもよい。
- ② トラック競技に出場する競技者は、招集時に腰ナンバーカードを貸与する。ランニングパンツ右腰の上部やや後方につけること。
- ③ 腰ナンバーカードは、招集時に受け取り、終了後は直ちに係に返却すること。

(2) 競技について

- ① 100m, 200m, 100mH, 110mH, 低4×100mR, 4×100mR, 走幅跳, 砲丸投については、1日目に予選、2日目に決勝を行う。トラック種目はタイムテーブル記載の通り、走幅跳、砲丸投は下記の予選通過標準記録に則り、決勝進出者を決定する。それ以外のトラック種目はタイムレース決勝、フィールド種目は決勝のみで行う。
- ② 番組編成において、シードレーンの配置については新ルールを適用する。
- ③ 競技運営上、競技日程及びピットを変更することがある。
- ④ 計時方法は写真判定とする。
- ⑤ タイムによる決勝進出者の決定について、同記録 (1/1000秒) があり、レーン数が不足するときは、抽選を行う。抽選は、番組編成員が該当者をアナウンスにより招集して行う。該当者は、アナウンスより10分以内に本部へ集合する。
- ⑥ リレー競技について、出場チームはすべて同一校単独チームとする。
- ⑦ 低学年リレーのオーダーは、第1・4走者を2年生、第2・3走者を1年生とする。また、いずれかのリレーにエントリーされている選手を他方のリレーに出場させることはできない。
- ⑧ 本大会では複数種目への参加は、同一の所属団体からのみとする。つまり、個人種目は学校から、リレー種目は地域クラブから出場する等といった参加の仕方は認められない。
- ⑨ リレー競技においては、同一デザインのユニフォームを着用しなくてもよい。ただし、県大会以上の大会では、着用しなければならないため、県大会進出校は注意すること。
- ⑩ 短距離では、事故防止のためにフィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン (曲走路) を走ること。
- ⑪ 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は競技役員の指示によって行う。
- ⑫ 走幅跳・棒高跳において、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。
- ⑬ 走高跳は、2ピット使用して行う。高さを競う競技において、競技終了後、7位の選手が複数いた場合は、県大会進出者7名が決定するまで、県大会進出者決定戦を行う。
- ⑭ 荒天等により1日開催で行う場合は、走幅跳については、1組と2組がAピット、3組と4組がBピットを使用し、同時に行う。砲丸投については、1組と2組を同時に行う。
- ⑮ 競技者は、勝手に競技場所を離れることやTR6.3.2で禁止されたビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバや携帯電話もしくは類似の機器を競技区域内で所持、および使用することができない。
- ⑯ 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は黄色のカード、除外は赤のカードを示すことによって競技者に知らされる。
- ⑰ 棒高跳用ポール以外、競技に使用する器具は主催者が用意したものを使用しなければならない。
- ⑱ プログラム記載の氏名や所属等に訂正があれば、受付後、団体代表者が総務 (本部) に申し出て、プログラム訂正用紙を受け取る。記入後、総務 (本部) に確認を得たうえで、記録室に提出する。
- ⑲ ハードルの規格は以下のとおりとする。

	高さ	台数	スタート～1台目	ハードル間	10台目～フィニッシュ
--	----	----	----------	-------	-------------

男子110mH	91.4 cm	10台	13.72m	9.14m	14.02m
女子100mH	76.2 cm	10台	13.00m	8.00m	15.00m

(3) 予選通過標準記録について

- ① フィールド競技の予選通過標準記録は次のとおりとする。

	走幅跳	砲丸投
男子	5m80	10m00
女子	4m60	9m50

※ 上記の種目で予選通過標準記録を超えた者が12名に満たなかった場合、決勝進出者は予選成績により追加補充される。決勝は2日目のため、必ず記録速報や記録の掲示を確認すること。同記録の競技者は、TR25.22、TR26.8を適用する。

※ 予選通過標準記録は、天候その他特別な状況が生じた場合に限り、当該審判長の判断により変更されることがある。

(4) 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

- ① 走高跳

決勝	練習	1	2	3	4	5	
男子	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	以降3cm
女子	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	以降3cm	

- ② 棒高跳

決勝	練習	1	2	3	4	5	
男子	2m00、 2m60	2m20	2m40	2m60	2m80	以降10cm	
女子	1m80、 2m20	1m80	1m90	2m00	2m10	以降10cm	

※天候その他特別な状況が生じた場合に限り、当該審判長の判断により変更されることがある。

(5) シューズについて

- ① スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳は12mm以内とする。スパイクピンの数は11本以内とする。
- ② 使用シューズの靴底の厚さは、以下の基準を超えてはならない。違反した場合は失格とする。顧問および指導者は、選手、保護者に周知すること。
- ③ 競技に使用できる競技用靴の靴底の厚さは、次の表に示すとおりとする。規格に合うもので競技を行うこと。ただし、フィールド種目については本規定を適用せず実施する。記録は国内の公認記録として認められるが、WAへの申請は行わず、国際競技会への参加資格として採用できない。

種目	ソールの最大の厚さ	補足
トラック種目	20mm	
フィールド種目	20mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。

※投てき種目については、スローイングシューズを使用しなくてもよい。

4. その他注意事項

(1) 県大会の申し込みについて

- ① 各校に配布されている「2025年度 第78回愛知県中学校総合体育大会 実施要項」に記載された通りに行う。(本資料 P23~26 参照)
- ② 1人につき、1000円が必要。県指定の口座に振り込むこと。
- ③ 円盤投については、6月15日開催の「第71回全日本中学校通信陸上競技大会 兼 第52回全日本中学校陸上競技選手権大会西三河予選会 2日目」で7位までに入った者が県大会に出場することができる。
- ④ 県大会出場資格を得た選手で、県大会への出場を辞退する場合は本大会終了(6月29日)までに大会本部の安丸まで直接報告すること。
- ⑤ 7月1日以降に県大会への出場を辞退することが判明した場合は、早急に東山中学校 安丸(0566-98-1531)まで連絡すること。

(2) 本大会が中止または、一部種目が開催できなかった場合の県大会進出選手の決定方法について

- ① 本大会が中止または、一部種目が開催できなかった場合は、本大会までの各種目の出場者予定者の本年度の公認記録ランキングから、7位までを選出し、決定する。
- ② 円盤投については、6月15日開催の「第71回全日本中学校通信陸上競技大会 兼 第52回全日本中学校陸上競技選手権大会西三河予選会 2日目」が開催できなかった場合、同大会の出場予定者の中で、6月15日までの本年度の公認記録ランキングから、7位までを選出し、決定する。
- ③ 予選を実施した種目は、予選記録の上位7名とする。
- ④ 出場意思を確認し、辞退する場合は、8位以降の選手を繰り上げて選出する。
- ⑤ 7位の選手が複数いる場合は抽選とする。
- ⑥ 決勝まで実施(競技終了)した種目は、通常通り決勝の記録から7位までを選出する。

(3) その他

- ① 正面スタンド、芝生広場、競技場外周等に待機場所を設置することができる。場所が限られているため、各団体譲り合って使用すること。(「芝生広場・スタンド割」参照)
- ② 応急措置を必要とする事故が発生したときは、救護室(本部室北側の記録室)において処置を行う。なお、応急措置後の治療は、本人負担とする。
- ③ 貴重品は各自で保管する。万が一の事故があっても責任は負わない。
- ④ 雷雨対策として、選手、観戦中の保護者が正面スタンド、東祥アリーナ安城(安城市体育館)に避難していただく場合がある。アナウンスの指示に従って移動すること。雷がおさまった場合は、選手は、元の場所に、観戦中の保護者は芝生スタンドに移動すること。